



市民や関係者とともに10年目のスタートを切る

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

PICK UP

市制施行10周年記念式典を開催

3月27日は旧風連町と旧名寄市が合併し、新たな「名寄市」が誕生してから10年目の日。その節目を祝う記念式典がこの日、市民文化センターE-N-RAYホールで開催され、関係者や市民など400人が会場に集まりました。



その後のアトラクションでは、ピアニストの渋谷藍香さんと中村幸さんのピアノ演奏と名寄ピヤシリ少年少女合唱団による合唱が披露され、名寄市の10年目の節目を華やかに彩りました。



式典では、市民憲章を朗唱したあとに、加藤市長、黒井議長の挨拶と続き、新市の誕生と市政の発展に貢献された15人の方を市制施行10周年特別功労賞として表彰し、加藤市長から表彰状が手渡されました。また、昨年10月から11月までデザインを募集していたカントリーサインの発表も行われ、デザイン考案者の永井伸さんを表彰。



PICK UP

地方創生の実現に向け金融機関と連携協力



▲北星信用金庫 (3月29日)



▲北海道銀行 (3月29日)



▲北洋銀行 (3月30日)

平成27年10月に策定した「名寄まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進と実現に向け、市と地域金融機関との「地方創生に係る包括連携協力に関する協定調印式」が3月29日と30日に行われました。今回、市と協定を結んだのは、市内に店舗を置く北星信用金庫と北海道銀行、北洋銀行。協定の締結により、産業や観光、スポーツの振興など多岐にわたる分野で官民一体となった連携・協力を推進し、地方創生の実現を目指します。

金融機関と協定調印式

4/1 阿部雅司さんが スポーツ振興アドバイザーに



リレハンメル冬季オリンピック（1994年）ノルディックスキー複合団体で金メダルを獲得した阿部雅司さんが、名寄市のスポーツ推進アドバイザーに就任しました。この日、市役所名寄庁舎で辞令交付式が行われ、その後の記者発表で、阿部さんは「ジュニア育成を強化し、子どもたちの可能性を出していきたい」と抱負を述べました。阿部さんは、今年度から新設されたスポーツ・合宿推進課に配属され、特別参与（嘱託職員）として名寄市の冬季スポーツ拠点化に向けての活動に尽力されます。

冬季スポーツ拠点化の活動が熱くなる

3/20 名寄高校吹奏楽部 定期演奏会



「アムール(愛)」と題し、第24回定期演奏会が市民文化センターで開催。全3部構成で、さまざまなジャンルの楽曲演奏のほか、音楽劇や合唱などを披露し、訪れた観客を楽しませました。

演奏会の間に3年生の卒部式も開催

4/7 名寄南小入学式



今年完成した名寄南小学校の新校舎で、入学式が行われました。拍手のなか、新入生82人が担任の先生とともに入場し、楽しい学校生活のスタートを切りました。

新入生の紹介では元気な声で返事をしていました

PICK UP カントリーサインが 変わりました



本市のカントリーサインが、市制施行10周年を記念し、新たなカントリーサインに生まれ変わりました。デザインは、名寄が誇る星空と一面に広がる田んぼを背景に、特産物であるもち米の稲穂・ひまわりを伸びゆくもちで表現したもので、弧を描くもち米の稲穂には、名寄市が円満に発展してほしいという願いが込められています。昨年10月から公募し、全国から集まった105点の応募作品から有識者会議、選考委員会を経て選ばれました。

※写真は、国道40号の士別市との境界に設置された新しいカントリーサインです。

名寄市の新たな顔が仲間入り

4/15 交通安全 旗の波啓発運動



4月6日(水)から始まった「春の交通安全運動」最終日に、国道40号沿い市内百貨店前で開催。交通安全運動推進委員会加入団体など56団体・250人が参加し、交通安全を啓発しました。

国道40号沿いで黄色い安全旗を掲げる